

2017 酉年

今年のお抱負

七回目の酉年を迎えて



原 秀 治
(吉岡)
昭和8年生まれ

「光陰矢の如し」と申しますが、早いもので七回目の酉年を迎えました。過ぎし日を思えば、少年時代、戦争による食料不足など大変厳しい時代を生き抜き、その後は当時盛んであった養蚕関係の仕事に従事し、家庭を支えてきました。時代は昭和から平成へと移り世の中も大きく変わりましたが、ここまで来られたのは、関わってきた多くの方達に支えていただいたお陰だと感謝しております。今は、米作りや野菜作りなどをしながら、地域の活動を行い、友人や老人クラブ等の皆様との絆を深めながら、皆様に元気を頂いて、楽しく過ごしております。

古希を迎えて



大 野 優 美 子
(山二)
昭和20年生まれ

新年あけまして、おめでとうございませう。私達は昭和五十二年に、長男の小学校入学を期に、飯田市より転入しました。地域の皆様へ支え、助けていただき感謝しております。下條に住み、第一印象はこの家庭の方々もよく働く、朝早くから夕方暗くなるまで、自分も出来るのかと、不安になった事があり

ました。あれから三十八年、あつと言う間に古希を迎えました。足腰の痛みを感じる時「介護」の言葉が身にしみることです。年を重ねた時に、同じ経験、体験を若い人たちにさせない様に、自分で、自立の精神をもって頑張らなといけないと思えます。「介護」いらすの生活」がいかにか大切か痛感します。いつまでも、自分の足で歩ける、これからもそうありたいと願っております。孫の明るい声と笑顔が一番の特効薬です。今年も良き年になります様に願っております。



柳 瀬 勝 弘
(小松原)
昭和32年生まれ

新年明けましておめでとうございませう。あつという間に年男と還暦となりました。五十代を迎えた頃から日々の仕事と生活に振り回され、今思えば「早かったな」と感じております。

私事ですが本年三月退職となります。この間多くの先輩や同僚・友人・地域の皆様と家族に対して感謝・感謝です。県職員であるため多くの地域に赴任し、仕事を通してその土地柄を感じてきました。残り数ヶ月心残りとならぬよう精一杯公務に精励する所存です。定年後は飯伊地域の企業にお世話になる予定です。地域に根差して多くの課題と向き合っていきたいと思っております。

全国的に有名な下條村、今後リニア中央新幹線や三遠南信自動車道などの開通を控え、南信州でキラリと光る「下條村」に・住んで良かった「下條村」となるよう期待しつつ今年も良い年でありませうようお祈りいたします。

今年のお正月は、



下 嶋 美 津 江
(粒一南)
昭和44年生まれ

お健やかに新年をお迎えのことと存じます。「今年のお抱負」という題を頂いたのですが、今年もいつものように家族と一緒に新年を迎え、お馴染みの新春番組をテレビで見ながらミカンを食べ、未来へ期待と希望に思いを巡らせる：何と幸せなことでしょう。私にとって最高の迎え方です。しかし子供たちは成長し、お義父さん、お義母さんも高齢になり、同じように思っていた風景が、少しずつ違ってきたお正月に嬉しさと寂しさも感じられます。

家族の心と身体の健康を祈り、それが叶うには、取り巻くすべての人々、環境が調和し健全であった、はじめて得られるのかもしれない。地域の皆様に感謝を忘れず「酉年」を過ごしたいと思えます。

子供との時間を大切に



實 原 直 哉
(入野)
昭和56年生まれ

新年あけまして、おめでとうございませう。今年で三回目の酉年を迎え髪型の変化が気になる年齢になりました。現在は二児の父親です。今年からの抱負としては、「子供との時間を作る」事です。社会人十五年目となり中堅社員の立場になりました。日々の業務に追われ、息つく間もないほどですが振り返ってみると、子供との時間が少なく反省しています。単身生活、片道五〇キロ以上の通勤の日々では、子供との時間が合わず寂しい思いをさせていましたが、子供達は元気に成長しているのを実感します。

親として一緒に過ごす時間を大切にしていきたいと改めて感じています。又、家族の支えがある事にも感謝の気持ちで一杯です。勤務先で下條村の話ががります。私の誇れる一つです。下條村が更なる発展する為に地域の皆さんと歩んでいきたいと思えます。今年も良き年でありませう願います。

人と関わる大切さを



宮 島 梨 奈
(相田)
平成5年生まれ

新年あけましておめでとうございませう。こうして新年を迎えられます事も、下條村の地域の皆さまのお陰だと思っております。さて、私は今介護老人保健施設でヘルパーとして働いています。

入社当初は不安ばかりで、自分のこの仕事が終わるのか、自分のしる事がない事、利用者様を不快にさせたりしないだろうか、そんな事ばかり考えていました。

しかし、いざ働き始めてみると、利用者様は新人だった私に積極的利用を掛けてくださりました。話を聞くとその方は、「私の事を助けてくれる人だから、あなたの事を知っておかない」と言ってくれました。私は仕事を通じて、人と関わる事の大切さ、相手の事を知る大切さを学びました。相手の立場になって考え、相手の訴えを受け入れ、納得していただくような仕事をしたいと考えています。

六年生に向けて



藤 本 尚 斗
(山一東)
平成17年生まれ

もう少しで、ぼくも六年生になります。そんな大事な一年間がんばりたいことが三つあります。

一つ目は、少年野球の事です。五年生や四年生などをリードしていかなくてはなりません。一球一球を大事にして練習したいです。かんとくのアドバイスをしっかり聞いて、もっと野球が上手になりたいです。

二つ目は、お手伝いことです。家に帰ると遊んでいることが多いので、手伝いができるようにしていきたいです。そして、家の人の役に立って、喜んでもらえるような一年にしていきたいです。

三つ目は、勉強の事です。ぼくは、苦手な教科だとあきらめてしまっている事があるので、授業で話をしっかり聞いたり自分で考えたりできるようにしていきたいです。中学校まで、小学校の内容をしつかり勉強しておきたいです。今年はこの三つのことを大切にしたい一年にしていきたいです。